

10000m 記録挑戦競技会

申し合わせ事項

○奨学金について

- ・男子①29分00秒・②29分20秒、女子①34分00秒・②34分20秒を突破した者には、それぞれ奨学金を授与する。また、第104回日本陸上競技選手権大会参加A標準記録を突破した者(男子：28分20秒、女子：32分25秒)には、別途奨学金を授与する。
- ・奨学金の受け渡しについては、大会終了後、該当大学が本連盟に申請を行うことで、本連盟が大学ごとにまとめて指定口座へ振り込む。詳細については、後日周知をする。

○各種配付について

- ・IDカード、ナンバーカード、プログラムについては、当日、大会インフォメーションで配付する。

○体調管理チェックシート(大学提出用)について

- ・体調管理チェックシート(大学提出用)は、**各大学最初に出場する開始予定時刻一時間前**までに、大会インフォメーションへ提出すること。期限までに提出がなかった大学は、大学全体(男女大学院共通)として出場を認めない。

○競技場使用上の注意

- ・集団応援および拡声器、鳴り物等による応援は厳禁とする。また、個人においても声を出しての応援は禁止とする。
- ・横断幕は、掲出を禁止する。
- ・競技場内ではテープ等の粘着跡の残るものの使用は禁止する。
- ・競技以外での芝生への立入は厳禁とする(ウォーミングアップも禁止)。
- ・競技場内の全ての電源は、主催者の許可なく使用してはならない。
- ・競技場入場の際は、必ず記名したIDカードを提示すること。配付されたIDには大学名と使用する個人名を記入し、本人以外の使いまわしは厳禁とする。使いまわしが判明した大学は、それ以降の出場を辞退することとする。
- ・グラウンド及び練習場では競技場保護のため、水以外の飲料の持ち込みは厳禁とする。
- ・各大学車両の競技場構内への進入は禁止する。駐車場については、第3および第5駐車場を利用すること。また、大型バスのみ駐車券を発行するので、第3駐車場に駐車すること。なお、夜間の留め置きは厳禁とする。
- ・テントの設置は、事前に申請した大学のみ、サイドスタンドにて、足があるテントのみ使用を認める。なお、感染症対策のため、テントを設置する場合は、四方の横幕を付けずに設置すること。また、大会中は重りを置く等して、テントが飛ばないように十分な対策をすること。
- ・**競技場内において、ブルーシート等、物を設置しての場所取りを厳禁とする。**

○大会当日の練習について

- ・練習場所は、**競技場周辺園路ならびに競技場内雨天走路**を開放するが、密を避けるため雨天走路の利用は、当日出場する選手に限定する。各個人が事故防止に万全を期すこと。なお、**危険防止のため、スピードの速いジョギングや流し等は、周辺園路での実施を厳禁とする。**
- ・練習中に発生した疾病・障害等については、応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- ・競技開始前のトラックでの練習は、9:00～10:30までとする。なお、逆走は厳禁とする。

○緊急車両の手配について

- ・救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場の許可なく手配しないこと。手配する場合は、詳細を大会本部に連絡すること。

○その他

- ・ゴミの分別を徹底し、必ず各大学で持ち帰ること。競技場に設置しているゴミ箱ならびに駅等の公共施設への廃棄は厳禁とする。
- ・競技場保護のため、競技エリアへの革靴での立入は禁止する。
- ・ユニフォーム確認のため、選手は招集時にユニフォームを着用すること。
- ・記録掲示は、HPならびにtwitterで行う。
- ・**併せて、今大会新型コロナウイルス対策申し合わせ事項を参照すること。**

関東学生陸上競技連盟